

## 第3学年 国語科学習指導案

日時 平成23年9月5日(月) 5時間目

学級 3年1組(男子10名 女子14名 計24名)

授業者 小野寺 倫代

- 1 単元名 5 論理の展開 ～文章の論理的構成をとらえ、自分の意見を深める～  
(教材名) ・『生き物として生きる』

・「説得力のある文章を書こう」

### 2 単元について

この単元では、筆者の上げる根拠や理由に注意して、生命と科学技術について考えを深めることを目標としている。また、筆者の述べる根拠や理由に注目しながら論理の展開をとらえ、自分でより説得力のある意見文を書くことに生かすよう構成されている。

### 3 単元の設定理由

#### (1) 教材観

1学期の説明的文章の学習では、展開に沿って内容をとらえた後、自分の意見を主張する文を作成した。本単元ではさらに、根拠や理由に着目しながら論理を展開する上での筆者の工夫点を読み取らせ、より説得力のある自分の意見文を書くための力を高めさせることができると考え、設定した。

#### (2) 生徒観

グループで音読したり話し合ったりする活動には意欲的だが、学級全体の前で一人で発表することを苦手とする生徒が多い。根拠のある意見は説得力があるということを学ばせ、発表への自信につなげていきたい。

#### (3) 指導観

グループ学習を通して相互の学習内容を高めさせ、さらに定着を図っていきたい。自分たちの意見文の理由・根拠を全員が読み取れるよう、支援したい。

### 4 研究主題とのかかわり

本校の研究主題である「基礎・基本の定着を図る指導法の在り方～学ぶ意欲を高める工夫～」に伴い、本単元における基礎・基本を、

- (1) 文章中から、筆者の主張の根拠を読み取ることができる。
- (2) 筆者の主張に対して、自分の考えとその理由を述べることができる。
- (3) 自分の決めたテーマの主張に対する、理由を述べるることができる。

とした。

意欲を喚起するような学習課題を設定すること、達成するための手だてを明確に提示し主体的に学習に取り組むようにすることで、基礎・基本の定着を図りたい。

### 5 単元の目標

- ・筆者の主張を読み取り、人間と科学技術の在り方について考えさせる。【関心・意欲・態度】
- ・筆者の論理の根拠や理由に着目しながら、展開を的確にとらえる。【読む】
- ・構成を工夫し、自分の主張を明確に伝える意見文を書かせる。【書く】
- ・類義語や対義語、抽象的な概念などを表す語句についての理解を深める。

【言語についての知識・理解・技能】

### 6 指導計画

時間	学 習 目 標	評 価 規 準
1	学習の見通しを持って文章を読み、内容について話し合う。	筆者の主張に関心を持ち、感じたり考えたりしたことを話し合おうとしている。 【関心・意欲・態度】
1	序論・本論・結論の中のキーワードに着目しながら、論理の展開を読み取る。	内容を的確に読み取ってキーワードを押さえ、意味段落に小見出しをつけることができる。 【読む】
1	筆者が「機械」と「生き物」について、どのような違いを述べているか読み取る。	筆者が「機械」と「生き物」の違いを明確にするために工夫している点を、おさえることができる。 【読む】
1	筆者の主張を読み取り、その根拠をとらえる。	「思いどおり」の使われ方の文脈上の違いに気づき、筆者の主張の根拠を見つけることができる。 【読む】
1	読み取った筆者の主張に対する自分の意見を、理由・根拠を明確にして述べる。	四つの立場から一つを選び、自分の意見を理由や根拠を明確にして述べている。 【読む】
1	テーマ例を参考に、主張する事柄を決める。	テーマを吟味し、主張に対する根拠としての資料を集めようとしている。 【関心・意欲・態度】
1	自分の主張について、説得力のある根拠と具体的な提案を用意する。	主張・根拠・提案の関係を理解し、自分の提案を整理している。 【書く】
1	提案の内容と根拠をグループで発表し合い、客観的に見直す。	友達の意見文へのアドバイスや、自分の意見文の客観的な見直しを行っている。 【書く】
1	構成を工夫して意見文を書く。	説得力を高めるための効果的な構成を考えながら、意見文を書いている。 【書く】 段落の役割や接続の關係に注意して、書いている。 【言語】
1	意見文を読み合い、気づいたことを伝え合う。	友達の意見のどこがよかったか、具体的に指摘できる。 【読む】

## 7 本時の指導

### (1) 本時の目標

自分の考えを、根拠や理由を明確にして述べようとしている。 【関心・意欲・態度】  
展開に沿って読み取った筆者の主張に対する自分の意見を、述べることができる。  
【読む】

### (2) 本時の評価の観点と具体の評価規準

【観点】	A(十分満足できる)	B(おおむね満足できる)	C(努力を要する生徒への手だて)
【関心・意欲・態度】	自分の意見の根拠を、身近な例を用いて述べようとしている。	自分の意見の理由を、本文と照らし合わせて述べようとしている。	自分が賛成できる部分、賛成できない部分を確認させ、その理由を考えさせる。また、具体的な事例を用いることで、根拠となることを確認させる。
【読む】	筆者の主張に対する自分の意見を、身近な例を用いて述べることができる。	自分の意見の理由を、本文と照らし合わせて述べることができる。	筆者の主張と根拠がかかっている文に引いた教科書のサイドラインや書き込み、ノートのとめを振り返らせる。

(3) 本時の構想

筆者の主張に対する自分の意見とその理由や根拠を、明確にして述べさせたい。グループ学習を用いて、お互いの意見文の工夫点を認め合う機会としたい。

(4) 展開案

段階	学習内容	学習活動	指導上の留意点(○…評価)
導入 6分	1 前時の復習をする。	・筆者の主張の根拠を確認する。	・筆者が述べている根拠や具体例を、教科書の本文やノートのまとめで確認させる。
	2 課題の設定	・P.145 学習[3]で、筆者の主張に対する自分の立場を四つの中から一つ選ぶ。	・筆者の主張に対する賛成と反対の部分を、割合で考えさせる。  ・「賛成(反対) + 理由・根拠 = 意見」
展開 38分	自分の意見の理由を考えよう。		
	3 課題の解決	・ワークシートに、自分の意見(選んだ立場)を書く。  ・本文から、意見の理由(納得できた文、納得できない文)を書き抜く。  ・身近な体験や見たり聞いたりした具体例からデータをを用いて、意見の根拠を書く。	○自分の考えを、理由や根拠を明確にして述べようとしている。  【関心・意欲・態度】  ・自分の意見の理由が「なんとなく」とならないよう、本文を振り返らせる。  ・理由にさらに具体性が加わることで根拠となることを確認させる。
	4 課題の定着 ①意見文の交流  ②感想発表	・理由や根拠が自分の意見と結び付いているか、確認する。  ・意見文を交換し、読み合う  ・自分の意見の根拠と共通している部分、違う部分を伝え合う。	○読み取った筆者の主張に対する自分の意見の、理由・根拠を述べることができる。  【読む】  ・グループ学習  ・友達の意見の理由が、筆者の主張とずれている場合は、アドバイスさせる。
終結 6分	5 課題の振り返り	・自分の意見の理由・根拠を、筆者の主張に沿って考えることができたかどうか、振り返りシートに記入する。	・自分の考えを理由・根拠を明確にして述べることに慣れるよう、毎日の3行日記にもや書くように勧める。
	6 次時の予告	・次の意見文のテーマを、P.150を参考に選んでくる。	